

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 岡山御津 高等学校
実践場面	インターンシップ (学校設定科目「キャリア実習「ぐんぐんアグリ」「わくわくインターン」「いきいきライフ」)
実践日時(時期)	3年次生:前期、2年次生:後期(令和4年度~)
対象生徒(学年)	キャリアデザイン科 2・3年生 科目選択者
連携の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 包括連携協定(岡山商工会議所、岡山北商工会) <input type="checkbox"/> その他( )
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input checked="" type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他
<b>実践の内容</b>	
<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザイン科では、自己の特性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるとともに、望ましい職業観・勤労観及び職業に対する知識や技術を身に付けさせるため、学校設定科目「キャリア実習「ぐんぐんアグリ」「わくわくインターン」「いきいきライフ」を開講している。(半期3単位)</li> <li>・科目を選択した生徒は、毎週木曜日に事業所へ出向き、インターンシップ(実習)を行う。(3年生は4~9月の前期、2年生は10~2月の後期に実施)</li> <li>・受入可能な事業所を十分確保することに課題があった。</li> </ul> <p><b>【実践内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山商工会議所及び岡山北商工会へ、「企業連携依頼シート」を提出し、受入可能な事業所の紹介を依頼した。</li> <li>・各商工会議所・商工会が会員事業所へ呼びかけをし、「受け入れてもよい」と回答した事業所を学校へ連絡いただいた。</li> <li>・それらの事業所へ教員が連絡をし、詳細を説明し、インターンシップ実施可能かの確認を行った。</li> <li>・教員が確認した受入可能な事業所のリストを作成し、科目選択している生徒へ示し、実習を希望する事業所を選ばせ、各事業所と教員が相談しながら、受入事業所を調整した。</li> <li>・生徒は、前期・後期ともに初回、学校で事前指導として心構えや注意する点などの指導を受け、2回目からは事業所で実習し、事後はまとめの報告を行う。</li> <li>・複数の事業所ごとに担当教員を割り当て、もし実習を欠席する場合、生徒から担当教員へ連絡し、担当教員から受入事業所へ連絡する体制を構築している。また、担当教員は実習期間中、事業所への巡回訪問を行う。</li> <li>・生徒は各自で事業所へ行き、1日実習を行い、その日の実習が終わったら事業所担当者から日誌へコメントを記入してもらい、それを翌日、担当教員へ提出してチェックを受ける。</li> <li>・事後指導として振り返りを行い、その内容を今後の進路選択等に役立てる。</li> </ul>	
<b>実践による効果等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの受入可能な事業所を確保できたことで、生徒の希望に沿った事業所でのインターンシップが実施でき、職業意識の向上につながることが見込まれる。</li> <li>・包括連携協定の仕組みを活用することで事業所リストアップまでの業務を簡素化することができ、教員の働き方改革につながるとともに事前指導などを充実させることができた。</li> </ul>	



※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等(特に企業側)は各校で行った上で提出してください。)